

こはま 小浜小学校区まちづくり協議会 自主と自立のまちづくり



小浜小学校区まちづくり協議会(以下 まち協)は、地域交流の場の提供まち協各部及び地域活動の情報提供サービスを展開することにより、住民の参加を促し、地域社会の発展と文化の向上に寄与することを目的とし、平成8年3月に発足しました。中国自動車道宝塚インターチェンジから北側に宝塚市立小浜小学校(現在児童数約500人の校区があり、3500世帯、人口は92000人、自治会は13あります。自治会長会を中心に、民生児童委員、補導委員、小学校幼稚園とそのPTA、地域で活動するグループで構成され、宝塚市社会福祉協議会の支援参加もいただいています。いろいろな活動をする中で、わがまち宝塚小浜小学校区に限りない愛着と未来志向を高めてもらおうと、5年間にわたり、兵庫県助成を受け、平成15年に手作りの「まち協かるた」を作成しました。平成16年には、まち協かるたに結集された住民の思いを引き継ぐ物として「まち協すごろく」、平成17年には、まちの再発見「まちの散策案内板」を6基作りました。地域住民はもとより他地域の人からも注目を浴びました。平成18年には県民交流広場事業に応募して、宝塚市宝塚市教育委員会小浜小学校の理解と協力をいただき、待望の活動拠点「小浜まち協会館」が誕生し、19年には、まち協防犯グループを立ち上げました。

主な活動紹介

「防犯グループ」

毎月第3木曜日、校区を4つに分けて、子どもの安全防犯、環境などの視点からパトロールをしています。気づいたことは各関係団体に申し入れをすることもあります。



防犯グループで行う地域パトロール

「福祉部」

毎月第4木曜日、小浜まち協会館で、いきいきサロンにて高齢者の方達と一緒におしゃべりをしたり、映画を観たり、和菓子作りをしたり、楽しく過ごしています。

「健康部」

校区住民の健康を願い、太極拳・健康体操リズム体操＆サロンなど軽快な音楽に合わせて楽しく健康体操をしています。参加者も増えてきています。

「青少年部」

毎水曜日、小浜まち協会館で、こはまミニ児童館を開催しています。子どもの居場所として誰でも自由に遊べます。乳幼児から中高生までいろいろなプログラムを考えながら実施しています。



福祉部・健康部 健康体操

「お楽しみクラブ」

毎土曜日、小浜まち協会館で9時から16時まで、囲碁将棋麻雀を地域住民の人が一緒に楽しんでおられます。

「広報部」

まち協情報発信の要。方針・活動取り組み等、隔月発行(2500部)して校区住民にお知らせしています。

「本部」

小浜まち協会館ができてからは活動紹介にあるようにいろいろと活用されています。昨年は利用者のべ5000人を超えました。また、小浜地域では毎年4月に「小浜宿まつり」、8月に「宝塚サマーフェスタ」があります。まち協は、山菜おこわ豚汁販売やバザーを出店して地域との交流を深めています。とても楽しい行事です。また本部としては、毎年地域の皆様との交流を大切に「ふれあい研修バスツアー」や「多世代イベント」等を展開しています。毎月の定例理事会(年12回)では、意見・情報交換をする中で、宝塚市総合計画や地域まちづくり計画の提言など、地域の問題を話し合っています。

これからの活動に向けて

行政における地域コミュニティ政策が推進されています。多様化する住民ニーズに応えるためには、地域のつながり、再構築が求められ、地域自治機能を育成することを目的としているのでしよう。「住んでよかった わがまち小浜小学校区」にしていくなために、行政や宝塚市社会福祉協議会などの支援を受け、地域の結集体として前進が求められているように思います。

現在まち協に参加している各団体の担い手は、問題意識とともに、人材(数)不足の悩みを抱えています(わが、まち協も同様です)。

当初、まち協は何をするところかも解らないままのスタートだったのですが、今は、まちづくりの課題に取り組む団体まで成長しました。将来は「自主・自立のまちづくり」を担えるまち協を目標に、さらに前進させねばと考えます。

り、8月に「宝塚サマーフェスタ」があります。まち協は、山菜おこわ豚汁販売やバザーを出店して地域との交流を深めています。とても楽しい行事です。また本部としては、毎年地域の皆様との交流を大切に「ふれあい研修バスツアー」や「多世代イベント」等を展開しています。毎月の定例理事会(年12回)では、意見・情報交換をする中で、宝塚市総合計画や地域まちづくり計画の提言など、地域の問題を話し合っています。



多世代イベント 幼稚園児の和太鼓発表

小浜小学校区まちづくり協議会

会長 藤本 真砂子
宝塚市小浜4丁目7-10
TEL&FAX(0797)86-1235-1